

記者発表

平成28年 6月 7日
東北地方整備局
福島河川国道事務所

相馬福島道路（りょうぜん 霊山～福島間）の開通見通しについて

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの復興支援道路であり、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして整備を進めています。

平成25年度に事業着手した霊山～福島間12.2kmのうち、（仮称）国道4号IC～（仮称）福島北JCTの区間2.0kmを、平成32年度までに開通する見通しです。

～相馬福島道路の開通により期待される効果～

- 輸送効率化と企業集積を支援します。
- 観光振興を支援します。
- 安定した救命救急活動を支援します。

◎今回の公表により相馬福島道路約45kmのうち、約36km（約8割）の開通見通しが確定したことになります。

<記者発表先：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ>

問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 TEL:024-546-4331(代)

副 所 長 さの 佐野 ともき 智樹 (内線205)

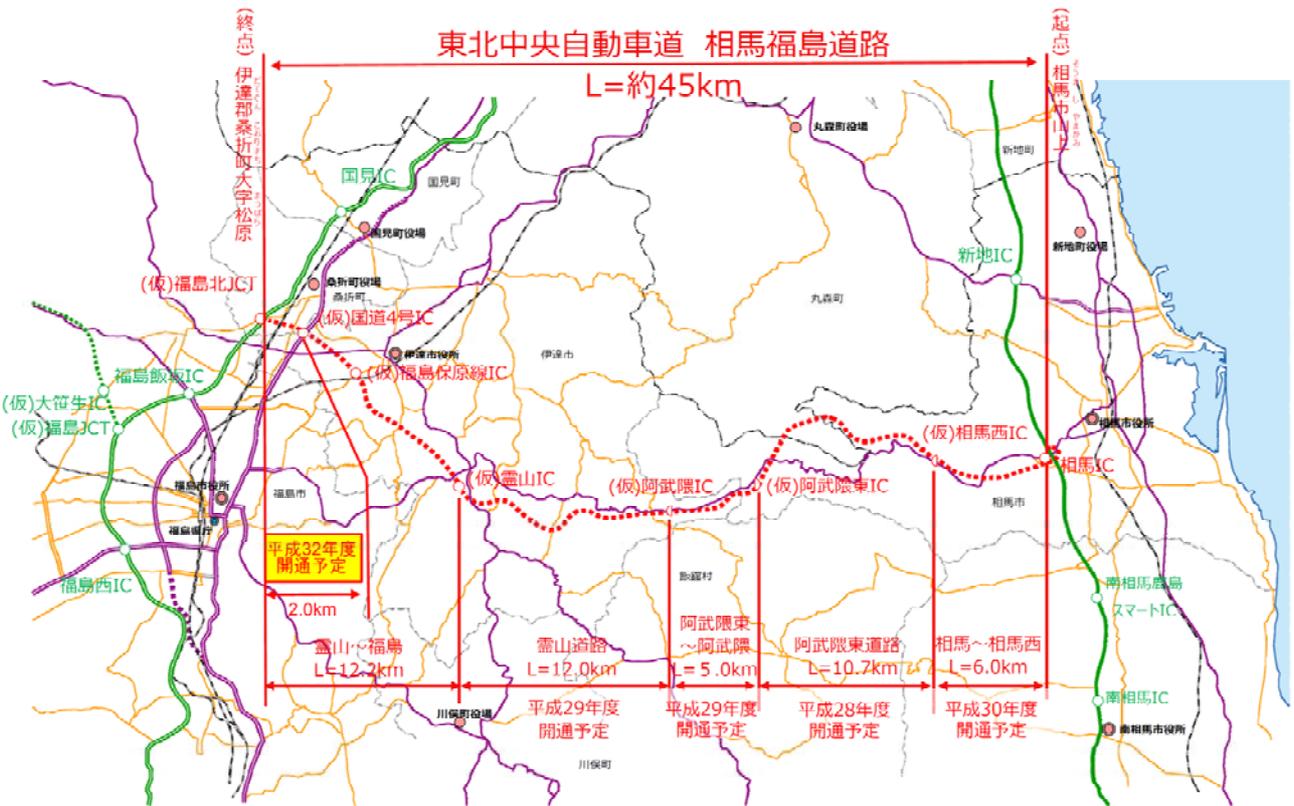
工務第二課長 おやまだ 小山田 かつらお 桂夫 (内線411)

りょうぜん
相馬福島道路(霊山～福島間)の開通見通しについて

<位置図>



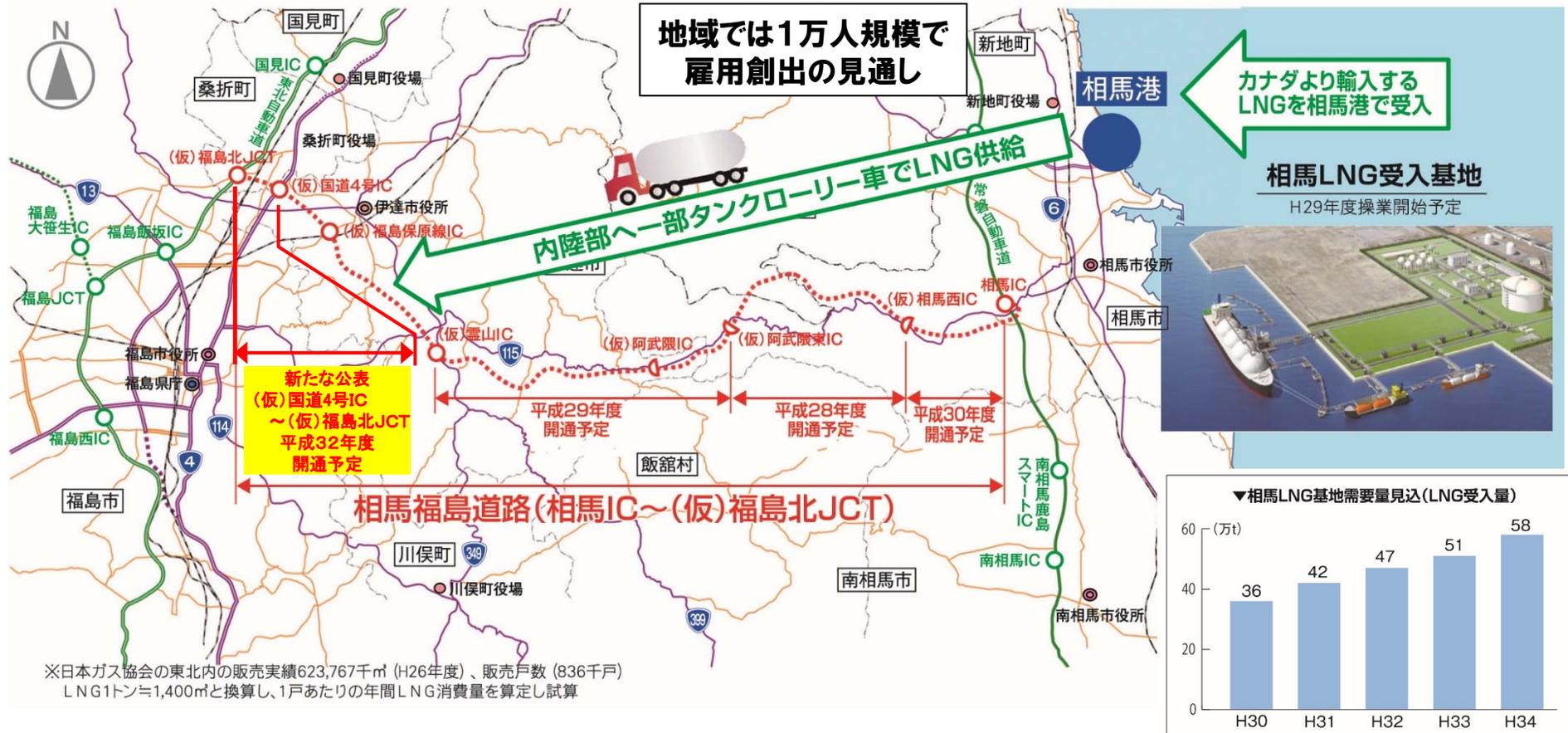
<p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> — : 開通中 --- : 事業中 □□□ : 未事業化 	<p>その他道路凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — : 相馬福島道路 — : 高規格幹線道路 — : 一般国道 — : 主要地方道・県道 	<p>道路種別</p> <ul style="list-style-type: none"> — : 4車線以上 — : 2車線 	<p>その他凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● : 県庁 ● : 市役所 ● : 役場
--	--	--	--



輸送効率化と企業集積を支援する相馬福島道路

- 相馬港に立地するLNG受入基地は平成29年度に操業開始予定で、内陸部へ年間30万吨以上の輸送を計画
- 相馬福島道路の整備により、内陸部への安定確実な供給が可能となり、企業集積を支援

■相馬福島道路を利用した新たな物流の動き



観光振興を支援する相馬福島道路

- 相馬市、伊達市、福島市、二本松市の4市は、ふくしま観光圏を形成し、滞在型観光を促進
- ふくしま観光圏の入込客数は、東日本大震災以前の水準に戻りつつある
- 相馬福島道路の整備により、広域的な観光周遊ルートが形成され、福島県北部地域の観光振興を支援

※観光庁施策実施(H20~24)後も、当該地域では東日本大震災からの復興に向けた取り組みを継続



上杉神社／米沢市

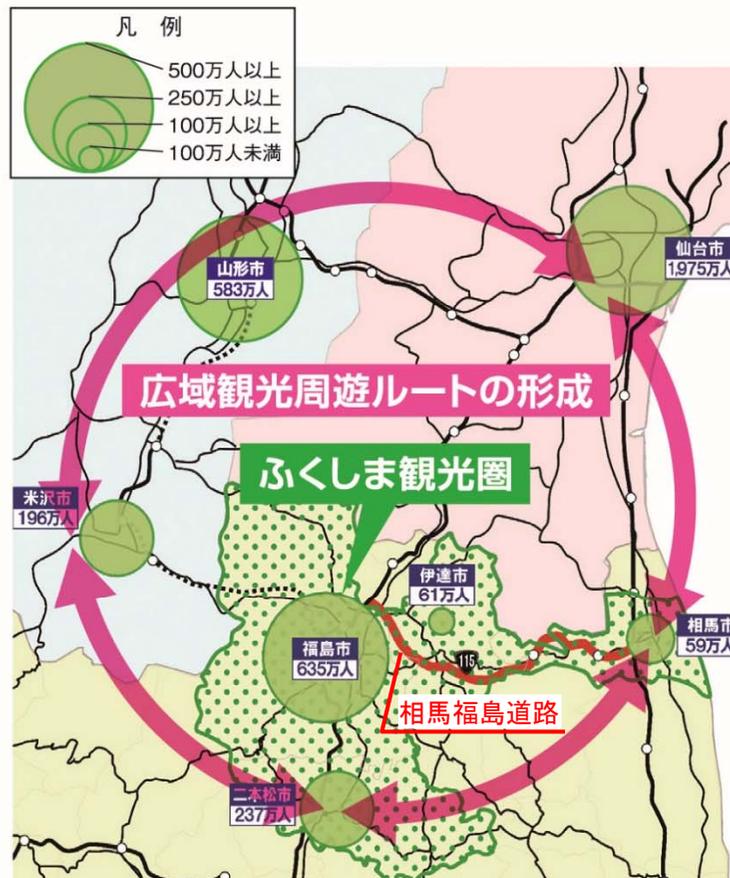


飯坂温泉／福島市



霞ヶ城(二本松の菊人形)／二本松市

▼周辺観光地の入込客数及び主な観光施設



青葉城／仙台市



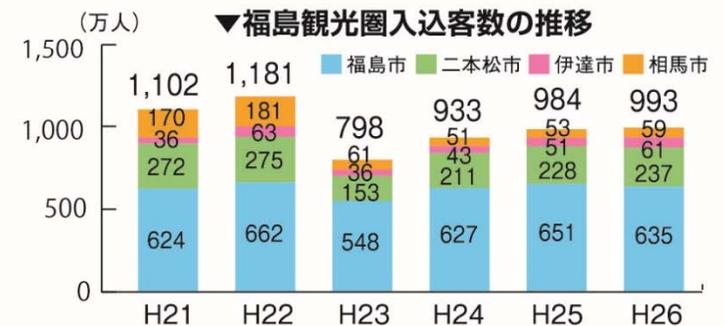
相馬野馬追／相馬市



霊山／伊達市



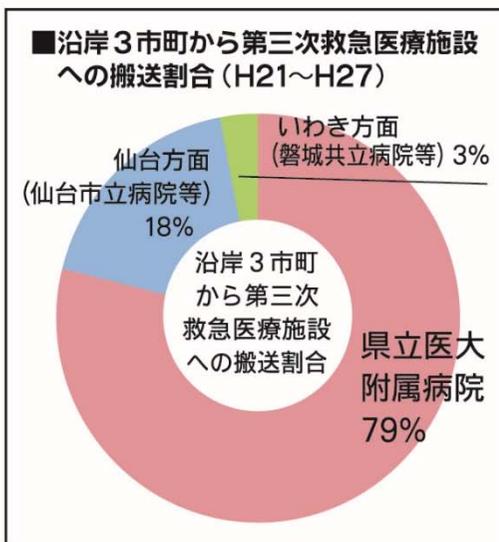
蔵王／山形市



資料：(観光入込客数) H26各県観光統計、(写真) 各市HP、観光協会より

安定した救命救急活動を支援する相馬福島道路

- 相馬市などの沿岸地域から第三次救急医療施設への搬送は、約8割が福島県立医科大学付属病院(福島市)となっている
- 相馬福島道路の整備により搬送時間が約21分短縮されるとともに、信頼性が高く、安定した救命救急活動を支援



沿岸地域(相馬市役所)から県立医大病院までの所要時間
 整備前 80分 → 整備後 59分 (21分短縮)



■第3次救急医療施設への搬送件数 (H21~H27)

全搬送件数：773/7年

- うち、福島方面 609件
- うち、仙台方面 139件
- うち、いわき方面 20件

資料：相馬地方広域消防本部



福島県立医科大学附属病院

線形不良箇所 (R < 150m)
 N=103箇所